

大正十一年 七月二十一日

兵庫別

神戸製鋼所争議ニ于る件

誠首職工等ハ失業難ノ方必死ニ陥ル就事運動ニ服シテ從テ争議本部ニ
 会合協議スルモノ強ク且神戸聯合会幹部連モ亦如何ニ争議團ヲ
 鞭撻シテモ比ノ毅執カテ挽回スルコト又争議本部ハ頑ク出ス者サハ
 茲ニ援即ヲ打切りタル状態ナリ今誠首職工幹部川見宗定等ハ
 鋭意初志ヲ貫徹シテ努力シ居ルニ八十余名ノ誠首者中真ノ誠首者ハ
 二十四名ニテ在籍職工ノ自覚ナキ者如何トスル能ハズ
 二入場職工ハ出勤率ノ九十二パーセントヲ示シ平靜ニ就事シテ居ラレテ
 会社側ハ労働者ニ是トモ未ダ一ヤノ怒ヲ戒テ廠ニシテ居ル撥擲ナリ

並 本株側

会社側ノ致ス戒嚴重ト工場職工ノ冷靜ナル所ナリ争議團ヲ解散シ失入
 モシメタリ、コノ争議ニ之ヲ以テ職工側ノ屈伏的勝敗ニ終エトスル能ハズ

内務省